

性を司るホルモンとフェロモン

京都大学霊長類研究所 清水慶子

生物は生殖によって、種の維持をはかっている。生殖の方法は様々であるが、地球上の多くの動物にはオスとメスの2つの性がそれぞれ別の個体として存在し、それぞれが卵と精子をつくり、その合体によって新しい生命を生み出す。この生殖を司るホルモンについて、「ホルモンとは何か」、「ホルモン分泌の制御機構はどのようになっているか」、「繁殖のシーズンとはどういうことか」、「メスを魅力的にするホルモンは何か」等を、さらに個体間のコミュニケーションの手段としての「匂い」や「フェロモン」について、これらがどのように動物の生殖に働いているかを、ヒトおよびサルを中心に、他の動物と比較しながら紹介する。